

旧大原家住宅



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	きゅうおおはらけじゅうたく
所在地	倉敷市中央
指定年月日	昭和46年3月11日
解説	<p>大原家は江戸時代後期に倉敷で勢力のあった町人グループ新禄派の一人児島屋で、幕末には屈指の富豪であった。主屋は一部二階、入母屋造、本瓦葺である。寛政7年(1795)に主屋の建物が着工され、その後に座敷部分などが増築された。蔵は土蔵造りで、外壁の腰部分は瓦を貼り付け、目地を白漆喰で盛り上げるなまこ壁となっている。その白黒のコントラストは倉敷の町並みを特徴づけている。往時の新禄層の屋敷構えをよく伝え、倉敷町屋の典型を示す。</p>
アクセス方法	
公開状況	外観のみ
設備	
備考	